

# 新国道、税金の無駄使いでは

## その認識はない

果たせるものと認識している。基本的には津波対策、あるいは防災機能の向上に一致することと考えており、税金の無駄使いという認識は持っていない。



もり はるし 議員 森 治史

**問** 高知新聞「大方バイパス11月20日着工」の記事を読まれた住民に「東日本震災の大津波では海岸の国道が大きな被害に遭っていたのに、なぜ津波に襲われる海岸線に新しい国道を造るのか」と問われた。これは税金の無駄使いでは。

**答** 大西町長

町内の生活安全性の確保を目的とした整備事業であり、現在の計画では改良国道と高規格幹線道路とでその目的は

行政に責任が無いとは思わないがどうか。

**答** 大西町長

地権者の人権に配慮しながら、事業にご理解を求めたいが、基本姿勢は変わらないが、十分な人権の配慮はしていきたいと考える。

## 福祉政策

### 介護支援の方法は

現金支給はしない

**問** 介護支援特別事業で在宅介護をしている家庭へ介護用品（月額3千円以内）の現物支給がされているが、支給は3カ月後になる。介護者からの「もう少し早い支給を」という要望への対応と、現金支給への切り換えはできないか。

**答** 矢野健康福祉課長

介護家族の経済的な負担軽減と、要介護高齢者の在宅による生活の維持向上を図る目

的で支給しており、対象者の把握の確認が2〜3カ月要すので、これ以上早めることはできない。現金支給は今のところ考えていない。

## 町道管理

### クロコウ線の補修を

考えている

**問** 町道田の口〜田野浦線

（クロコウ線）の上田の口から峠までは、未舗装の上に管理が行き届いていない。自転車や車等が往来可能な状態にすべきではないか。

**答** 武政まちづくり課長

月2回程度パトロールを実施しており、現状は認識している。現場管理は2年程手付かずの状態だが、雨の時期も終わり、通行に支障がない程度の補修を考えている。当面、砂利舗装での管理をする。



現在のクロコウ線